

第15期

事業計画書

収支予算書

自 令和8年 4月 1日

至 令和9年 3月31日

公益財団法人 復 康 会

も く じ

令和8年度 事業計画書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

令和8年度 収支予算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

令和8年度事業計画（案）

運営方針

公益財団法人復康会は、令和5年度より第5次中長期経営計画を新たにスタートさせた。4年目となる令和8年度は、中間点を折り返した後の、終盤に向けた準備の年度と位置づけられる。

第5次中長期経営計画は、第4次計画の反省から、「掲げるだけの目標ではなく実効性を求める」ことを強調したうえ、「患者」から「利用者」へサービス概念を変革すること、「人権意識」の向上、人的資本経営の考え方の採用、全法人的な経営参画を特徴としている。

当法人の主な業態は対人サービスであり、人権意識の向上にはかねてより高い意識をもって取り組んでいるが、一方では国連委員会からの勧告を受けた人権擁護の強化のための法改正などを受け、手続き業務の負担が増加し、人材確保難と相まって現実課題となっている。経営面に関する全法人を挙げた取り組み目標は、昨今の世間の物価高騰、賃上げの大きな荒波の中で、目まぐるしい日常に振り回されてはいるものの、管理監督職諸氏らの意識づけにより徐々に浸透しつつあると感じる。

医療分野の経営対策は、世の動向に遅れを取り、業界全体が低迷した。当法人も例外ではないが、新政权となってようやく支援メニューが決定し、次年度の報酬改定に向けての議論も行われている。今後は本格的なダウンサイジングに向けた組織改編なども余儀なくされるであろう。

あらためて社会の情勢をしっかりと見据え、組織が丸丸となって難局を乗り越え、今後の人を育て、法人運営を堅実に推進することにより、理念である「愛・信頼・貢献」の実現を目指したい。

重点目標(第5次中長期経営計画における重点課題を踏襲)

1. 良質な医療・福祉サービスの展開
 - 1) 地域に責任を持った包括的で継続的な医療・福祉サービスの提供
 - 2) 公平で敏感な即応型医療の実践
 - 3) 適切で整合な仕事の探求
 - 4) 人権意識と当事者中心理念の浸透
2. マネジメント体制の強化
 - 1) 持続的な人材の確保・活用・育成とそのための体制構築
 - 2) 合理的な経営計画と法人運営による組織の健全化
3. 全組織的な経営参画
 - 1) 個々の職員による経営意識の向上
 - 2) 法人内各領域の有機的協働による機能的・効率的な組織支援

公益目的事業

1. 地域に必要な専門分野の医療サービスを提供する事業

以下の病院施設の運営を行う。

- ・沼津中央病院
- ・鷹岡病院
- ・沼津リハビリテーション病院
- ・大手町クリニック
- ・富士メンタルクリニック
- ・訪問看護ステーションうしぶせ
- ・訪問看護ステーションふじみ

2. 障害福祉サービス事業

以下の社会復帰施設の運営を行う。

- ・サポートセンターなかせ
- ・サポートセンターりりぶ
- ・サポートセンターゆめワーク
- ・サポートセンターひまり
- ・グループホームはまゆう寮
- ・グループホームカーサ岡の宮

- ・グループホームコーポ狩野
- ・就労支援事業所かのん
- ・就労支援事業所ワークショップまごころ
- ・就労支援事業所田方・ゆめワーク

3. 介護サービス事業

以下の介護福祉施設の運営を行う。

- ・訪問看護ステーションうしぶせ
- ・看護小規模多機能型居宅介護事業所汐かぜ

4. 医師・看護師その他医療スタッフ育成のための学生教育実習及び卒後の臨床研修への協力事業

- ・医師臨床研修制度の充実
- ・看護実習の受託
- ・作業療法士や精神保健福祉士、臨床心理士等の実習・研修の受託
- ・奨学金貸与の充実

5. 専門知識や技術の向上のための研究協力事業

- ・倫理審査委員会の運営
- ・研究活動の拡充
- ・研究協力事業への幅広い参画

6. 無料相談および助言事業

- ・無料相談事業の充実
- ・休日夜間精神医療相談窓口の運営
- ・行政機関、研究機関、職能団体、学術団体等への業務協力
- ・大学・看護学校等、医療教育機関への教育面での協力

7. 保健福祉普及のための啓発事業

- ・認知症疾患医療センターとしての啓発活動
- ・災害対策及び地域防災活動への協力

収益事業

1. 特別の療養環境の提供に関する事業
各病院において、患者の選択による特別の療養環境の提供
2. 日常生活の支援に関する事業
各病院における、日常生活で必要となる洗濯や金銭管理等の代行業務
3. 不動産賃貸業
アパート、駐車場並びに静浦ホテル跡地の賃貸
4. 病院売店事業
各病院内の売店事業を行い、公益事業を支える。

その他の事業

1. 福利厚生事業 職員の福利厚生制度の充実
2. 100周年記念事業

施設整備計画

1. 建築設備評価に基づく老朽化対策と既存設備の有効活用
2. 災害対策、備品類の充実
3. 公益法人制度改定に伴う会計システムの更新

沼津中央病院グループ

運営方針

地域共生社会の実現に向け、信頼され、選ばれる医療機関として、あらゆるニーズに専門的に応需できるよう、責任感・気概・志をもって当事者とともに使命に取り組むとともに、安全で質の高いサービスを提供し続けられるよう、自己を高め、他者を信頼し、社会に貢献していく。

重点目標

1. 人的資本経営のための人材育成と対応力の強化
 - 1) 好人材を引き寄せられるよう、良好な労働条件、豊富な業務経験機会、充実した指導体制が整い、雰囲気が高く、活気があり、魅力ある職場を実現する。
 - 2) 働き方改革への対応を通じ、個々の働き手が健全で、かつ公私ともに自己実現できるような労働環境を実現する。
 - 3) 困難な業務課題に対しても適切で、かつ個人が低負担で無理なく対応できるよう組織力を強化し、常に専門的な向上心を高める意欲を喚起できるよう職場環境および体制を充実させる。
 - 4) 職域に応じて、先ずは各個人が標準化されたスキルを体得し、そこからさらにステップアップして専門性を高め、課題も克服できるよう、効果的な人材育成のための院内教育システムの構築を目指す。
2. 医療サービス向上
 - 1) 常に地域生活を見据え、包括的で切れ目がなく、統合的で公平なサービス体制を構築してケアを提供する。
 - 2) 地域生活の中で生じる急性の危機状況に即応できるよう、良質で高水準の精神科救急医療サービスを継続的に提供する。
 - 3) 当事者視点に立脚し、自立の促進によって権利と可能性を追求するケア理念に基づき、サービス提供する。
 - 4) 常に探求心をもってものごとに取り組み、より確かなエビデンスと合理性に基づいたサービスの提供を目指す。
3. 地域に責任を持つ
 - 1) 静岡県東部の精神科医療における中核的医療機関としての自覚を保ち、気概と責任感を持って当事者サービスに従事する。
 - 2) 地域社会の様々な分野と連携し、広い視野を持って地域貢献することを意識する。
4. 合理的かつ組織的な経営実践
 - 1) 組織がサービス規模や目標を無理なく達成できるよう、限られた人的資源に見合う数値目標を明確にし、ともに助け合い、協力・準備して業務に従事する。
 - 2) 少子高齢化等、時代の変化に伴う社会構造や制度・体制の変革に対応できるよう、効率的かつ合理的な病院経営を実現する。
 - 3) 業務を支えている建造物、インフラストラクチャー等、病院資源に対する意識を向上させ、常に感謝の念を持つとともに、持続可能な開発目標に応じた設備運用を行う。

● 事業所ごとの活動

1. 沼津中央病院

医療活動

(1) 法人内外連携による地域包括ケアサービス

- ・精神科救急医療体制整備事業における常時対応施設と休日夜間電話相談の継続的な指定と運用
- ・医療と保健福祉の連動による包括的地域サービスの展開および地域共生社会への貢献
- ・退院支援・退院後支援（社会資源との連携や行政事業等による取り組み）の充実
- ・診療パフォーマンスの確保（適正な診療件数・ニーズへの応需）
- ・入院外医療サービスの強化（包括的ケアマネジメント等）

(2) 多様なニーズへの対応

- ・児童思春期精神科診療（浜松医科大学、横浜市立大学との連携）
- ・圏域内総合診療（圏域内地域支援病院等との診療連携医療連携室機能の発揮）
- ・治療プログラム（ぬま〜ぷ、リワークおよび就労支援プログラム、摂食障害、心理教育、急性期作業療法、協働意思決定（SDM: Shared Decision Making）、栄養指導）の活用
- ・クロザピンの組織的活用（適応判断のシステム化と計画的導入による安全性の確保）
- ・修正型電気痙攣療法（m-ECT）の運用
- ・持効性注射剤（デポ剤）の活用
- ・適正な薬物療法とそのため組織的な取り組み
- ・隔離・身体拘束最小化の継続
- ・精神療法の充実
- ・災害派遣精神医療チーム（DPAT: Disaster Psychiatric Assistance Team）の活動支援と災害拠点精神科病院の運用
- ・ピア活動の更なる推進

(3) 法令とエビデンスに基づく標準医療の推進

- ・精神保健福祉法等の必要法令について、関係職員の正しい理解と適切な運用（必要な手続き等の期限の順守）
- ・標準的な治療の体得と推進
- ・厚生労働科学研究への協力
- ・職域ごとの研究推進
- ・治験の推進

(4) 人材育成と強化、活用

- ・人権意識の向上
- ・クライシス対応スキル（ディエスカレーション、自傷・自殺ハイリスク等）の強化による安全な療養環境の実現
- ・定例研修（リスク、感染、行動制限最小化、虐待防止等）の開催
- ・専門上位資格の取得
- ・働き方改革への対応
- ・精神科専門医制度 専門研修プログラム研修基幹施設の運用
- ・ボランティアの活用
- ・奨学金制度の活用
- ・教育機関への貢献と連携による安定した人材確保

施設設備の整備計画

(1) 既存建物設備の維持

- ・修繕計画に基づく維持保全
- ・設備更新（空調、電気、衛生等）

- (2) 人・環境にやさしい空間の創造
 - ・癒し・休憩のとれる環境づくり（中庭の整備）
 - ・地球環境に配慮した設備管理（SDG s の取り組み）

地域貢献活動

- (1) 公的機関への協力
 - ・国、県、市町村、職能団体、研究機関、学術団体等からの要請応需
 - ・大学、看護学校等への講師派遣
 - ・実習病院の受託（看護師、薬剤師、精神保健福祉士、作業療法士、公認心理士、調理師等）
 - ・他分野（企業等）との連携と貢献

その他の活動

- (1) 情報管理の推進
 - ・情報システムの適時更新・評価（カルテ、栄養、検査、薬剤、医事、院内情報管理）
 - ・情報セキュリティ対策の強化
 - ・医療 DX への取り組み
 - ・人工知能（AI）活用の検討
- (2) 広報活動
 - ・情報発信機能の強化（ホームページの充実）
- (3) 感染症への対応
 - ・新興感染症を見据えた体制の構築
- (4) 組織の健全化
 - ・法令の順守
 - ・内部通報システムの運用
 - ・第三者評価の実施

2. 大手町クリニック

医療活動

- (1) 外来・入院間での円滑で切れ目のない医療ケアの提供
- (2) 安心して医療を受けられる・提供できる環境、体制の整備

施設設備の整備計画

- (1) 診療環境の継続的な改善

地域貢献活動

- (1) 地域の精神保健活動への協力

その他の活動

- (1) 適切な感染対策の継続

3. 訪問看護ステーションふじみ(ゆかわ支所)

医療活動

- (1) 地域包括ケアシステムも踏まえた、関係機関との連携強化
- (2) 自立を促し、その人らしさを支える精神科訪問看護スキルの向上

地域貢献活動

- (1) 地域の精神保健活動への協力

施設設備の整備計画

- (1) カルテ増加に伴うカルテ書庫の整備

その他の活動

- (1) 適切な感染対策の継続
 (2) 医療 DX への取り組み

入院・外来取扱患者数

(定床：270 床)

	入院		外来		デイケア		一般外来計	
	期中延	1 日当	期中延	1 日当	期中延	1 日当	期中延	1 日当
沼津中央病院	75,930	198.0	19,045	65.0	8,296	34.0	27,341	99.0
大手町クリニック			19,360	80.0	4,356	18.0	23,716	98.0

	訪問看護		作業療法(再掲)	
	期中延	1 日当	期中延	1 日当
沼津中央病院			18,544	76.0
訪問看護ステーションふじみ	6,739	23.0		

鷹岡病院グループ

運営方針

- 1 「必要な人に、必要な時に、人権および当事者視点に配慮し良質なサービスを提供する」ことにより社会に貢献し地域から信頼される精神科医療機関として存続する。
- 2 法人内外の連携を深め、全組織的な取り組みを実施し組織力の強化を図っていく。
- 3 健全な経営を実現するために、職員全体で目標に向かい取り組んでいく。

重点項目

- 1 利用者の視点に立った良質で安全な医療・福祉サービスの提供
 - ・社会のニーズ、診療報酬の改定をふまえ、人口構造、疾病構造の変化などを見極め、病床機能の変更や人的資源の適正な配置について常に修正を重ねていく。
 - ・地域の関係機関（行政、総合病院、精神科や他科の診療所、地域包括支援センター等）と連携を強化していく。
 - ・利用者の人権へ最大限配慮し、敬意と共感的態度を常に意識する。
 - ・職員の安全を確保し、可能な範囲で最良のサービス提供を目指す。
- 2 マネジメント体制の強化
 - ・職員の適正な評価、勤務条件への配慮等を通じて、やりがいを見いだせる職場環境を整えていく。
 - ・職員同士の適正なコミュニケーションを通じて、相互理解を深め、思いやりの精神を醸成していく。
 - ・研修や教育指導を通じてあらゆるハラスメントを撲滅し、ハラスメント対応担当部門の新設を進める。
 - ・利用者サイドの意識の変化、グローバル化、情報化など複合的な要因により、カスタマーハラスメントの増加と対応に苦慮している現実がある。職員を守る体制が求められる時代となっている事実を踏まえ、カスハラ担当部門の新設を進める。
 - ・上記を通じて多様な人材の定着を目指し、組織力の強化を図る。
- 3 全組織的な経営参画
 - ・物価高騰や人口減少社会を迎え、今後一層病院経営が厳しくなっていくことが予想される。職員各々がその事実に向き合い、自ら関することとして問題意識をもつ。
 - ・全職種が意見交換を重ね、協働して困難を乗り越えていく。

1. 鷹岡病院

医療活動

(1)精神科救急の充実

- ・富士圏域の精神科救急基幹病院として責任を待った医療の維持・推進
- ・精神科救急急性期医療入院料算定基準のクロザリルの件数確保
- ・富士圏域の救急医療センターとの連携

(2)自治体の指定等による拠点機能の確立

- ・認知症疾患医療センター事業の継続
- ・富士市認知症初期集中支援事業の継続
- ・静岡県認知症の人をみんなで支える地域づくり推進事業の継続
- ・富士圏域の認知症サポート医との連携の継続
- ・富士市災害時医療特殊病院
- ・DPAT

(3)病棟機能の再編並びに稼働率の確保

- ・病床利用適正化プロジェクトチーム及び制限緩和検討チームによる取り組みの継続と入院調整会議における患者の調整
- ・精神科療養病棟入院料の施設基準の見直し検討
- ・圏内医療機関への入院患者紹介及びクロザリル適応患者紹介の依頼

(4)訪問看護数増加対策

- ・医師、看護師、MHSW等の連携による退院前訪問看護の推進及び退院後の訪問看護の確実な実施
- ・外来患者・退院患者の訪問看護対象者の洗い出し
- ・多職種による訪問看護の実施の遂行

(5)デイケア利用者の増加対策

- ・送迎ルートの見直しの実施
- ・グループホーム等に訪問し利用者の確保
- ・プログラムの見直しの実施
- ・デイケアC棟の補修、新棟建設委員会の運用

(6)行動制限最小化への取り組みの強化

- ・研修会への参加

(7)安全管理体制の強化

- ・医療事故の原因分析のレベルアップ
- ・事故調査委員会への報告
- ・再発防止策の有効性の確実な評価

(8)身体科救急対応医療機関との連携の強化

(9)多様化する精神疾患への対応の推進

- ・児童相談所等専門機関との連携
- ・児童思春期診療の強化

(10)うつ・自殺対策への取り組みの推進

- ・富士市紹介システムの再周知及び推進
- ・富士圏域自殺未遂者支援ネットワークの構築

(11)虐待防止への取組推進

- ・内部通報制度の適切な運用
- ・定期的な研修会の実施

施設設備の整備計画

- (1) B棟吸収冷凍機設備の更新
- (2) 臨床化学分析装置の更新
- (3) 医療ガス酸素供給装置の更新
- (4) 医療ガスアウトレットバルブの交換
- (5) 浄化槽ポンプの交換
- (6) 調理場配膳室エアコンの更新
- (7) B棟2・3階ナースステーションエアコンの更新
- (8) 調理課プラスとチラーの更新
- (9) C棟トイレの交換工事
- (10) 病棟ベットの購入
- (11) 外来待合室ソファの交換
- (12) 病棟面談室監視カメラの新設

地域貢献活動

- (1) 国・自治体・公的機関等への協力・援助
- (2) 研修医（初期、専攻医）の教育体制の充実と看護師、精神保健福祉士、作業療法士・公認心理師・臨床心理士教育への協力し職員獲得に繋げる
- (3) 天間地区福祉推進事業への協力
- (4) 法人内社会復帰事業部への協力
- (5) 富士市医師会事業、職能団体事業への協力
- (6) 地域防災医療計画への協力

その他の活動

- (1)人材確保と活用・育成の体制構築
- (2) コンプライアンス遵守の徹底と管理
- (3) 情報管理体制の強化
- (4) 業務体制見直しによる効率化
- (5) 災害対策（BCPの推進、安否コール[災害安否確認システム]の活用）

2. 富士メンタルクリニック

医療活動

- (1)電子カルテを円滑に使用し、再診・新患の受け入れ体制の迅速化を図る。
- (2)多職種間連携を強化し、更なる医療の質の向上を目指す。
- (3)人材の活用・育成体制の構築
- (4)デイケア利用者の満足度の向上と利用者人数の増加を目指す。
- (5)診断補助システムの円滑化(カウンセリング・心理検査の拡充)

施設設備の整備計画

- (1)LED照明交換工事準備（2027年末を目途）

その他の活動

- (1)接遇・院内外との連携のさらなる充実とフィードバックの徹底
- (2)ホームページの充実
- (3)他医療機関の連携と更なる充実

入院・外来取扱患者数

	入院		外来		デイケア		一般外来計	
	期中延	1日当	期中延	1日当	期中延	1日当	期中延	1日当
鷹岡病院	46,355	127.0	23,950	81.7	7,050	29.4	31,000	105.8
富士メンタルクリニック			16,115	55.0	2,916	12.0	19,031	64.9

	訪問看護		作業療法	
	期中延	1日当	期中延	1日当
鷹岡病院	840	2.9	13,200	45.1
富士メンタルクリニック	0	0.		

沼津リハビリテーション病院グループ

運営方針

静岡県東部医療圏域において、脳卒中等の神経疾患・整形外科疾患の回復期リハビリテーション医療及び神経難病などの対応困難例に対するリハビリテーションと医療ケアを基軸とした医療サービスにより、急性期医療を引き継ぐ役割を担い、常に求められる医療機関となることを目指す。

回復期リハビリテーション病棟では、脳卒中を中心とする神経疾患、大腿骨近位部骨折を中心とする外傷を主たる対象としつつ、幅広い疾患や合併症に対応する。高齢者、認知症であってもリハビリテーションの介入の可能な症例には対応するよう努め、急性期病院の後方支援病院として多様な役割を担う。

医療療養病棟では、厚生労働省指定難病である神経疾患を中心として合併症に対応しつつ、在宅ケア例に対するリハビリテーション介入を伴う支援を行う。さらに急性期病院に合併症等で入院した難病例を積極的に受け入れ、後方支援の役割を担う。一部難病以外の地域在宅困難例、急性期病院での治療後のリハビリテーション（回復期非適応例）にも対応する。リハビリテーション終了後は積極的に在宅ケア等への移行支援を行う。地域でのこれらの役割を全うするために必要な人員の確保、設備の充実、技術の向上、経営基盤の安定を目指す。

重点目標

- (1) 病院全体で最低 93.9%以上の病床稼働率維持による経営の安定
- (2) リハビリテーションの実績指数及び在宅復帰率の向上
- (3) 在宅支援事業の強化（訪問看護・看護小規模多機能型居宅介護の充実）
- (4) 感染対策の徹底
- (5) 病院運営に必要な職員の確保及び人材の育成
- (6) 医療水準向上のための学会・研修会などへの積極的参加
- (7) 診療報酬改定及び各種制度改正への対応
- (8) 各種システムの更新及びDXの推進

1. 沼津リハビリテーション病院

医療活動

- (1) 回復期リハビリテーション病棟の機能維持・向上
 - ① 病床稼働率 96.5%を確保する
 - ② リハビリテーション達成機能としてのFIM (functional independence measure) のさらなる改善
 - ③ 自宅復帰率のさらなる改善とそのための支援の充実
 - ④ 対象患者の高齢化に伴う初期ではない認知症患者に対する対応力の向上
 - ⑤ 急性期病院との円滑な連携の強化、受け入れまでの期間短縮、それに伴う医療リスクの管理強化
 - ⑥ 福祉施設・行政機関・サードライン病院との連携強化
- (2) 医療療養病棟の機能改善
 - ① 長期療養を主目的としない合併症の管理・リハビリテーションの提供を中心とした在宅医療支援機能の強化
 - ② 在宅・他院からの積極的な入院受け入れによる入院期間の適正化および退院支援の強化
 - ③ 医療区分2・3患者層の受け入れ割合の維持
 - ④ 医療レベルの改善・機器設備の拡充
 - ⑤ 急性期病院との連携強化、回復期リハ非適応対象の受け入れ推進

施設設備の整備計画

- (1) 院内PCの更新
- (2) 電動ベット等の更新
- (3) 画像管理システムサーバーの更新
- (4) 空調設備の更新
- (5) 臨床化学分析装置の更新
- (6) 建物の補修・改修工事
- (7) 外構の整備

地域貢献活動

- (1) 月1回の沼津医師会からの一次救急輪番対応への継続的な協力
- (2) 専門学校等の臨床実習の受け入れ継続
- (3) リハビリテーション・看護における研究会・レクチャーの院内開催の継続（院外参加者のさらなる受け入れ）
- (4) 新興感染症対策（ワクチン接種）及びVRE（バンコマイシン耐性腸球菌）研究への協力
- (5) 沼津市短期集中予防サービスの提供
- (6) 地域市民講座の開催

その他の活動

- (1) 必要な人材確保と人材育成
- (2) 医師を含む働き方改革への対応
- (3) 職員健康管理体制の整備
- (4) 院内情報等におけるDX（Digital Transformation）の推進
- (5) あらゆる災害を前提とした対策の推進
- (6) 業務効率化の推進と各種発表会へ積極的参加

2. 訪問看護ステーションうしぶせ

医療活動

- (1) 地域医療機関との幅広い連携による在宅医療の積極的推進
- (2) 疾患・年齢を問わない種々の重複障害患者への積極的対応
- (3) 24時間対応の維持と対象患者数の増加

地域貢献活動

- (1) 看護学校等の積極的実習受け入れ
- (2) 地域のニーズに応えるための時間外対応の強化

3. 看護小規模多機能型居宅介護事業所汐かぜ

在宅支援活動

- (1) 要介護状態の利用者が住み慣れた地域で本人の望まれる生活の実現を支援
- (2) 「通い」「泊り」「訪問」サービスの円滑な提供（職員確保及び教育）
- (3) 医療処置が必要・在宅での看取りの利用者対応
- (4) リハビリ職員の専門性を活かした日常生活動作訓練の提供
- (5) 緊急ショート利用の柔軟な対応
- (6) 家族のレスパイト対応

地域貢献活動

- (1) 地域住民代表者との意見交換（運営会議の実施）
- (2) 地域住民との自発的な活動・地域イベントの参加

入院・外来・訪問リハビリテーション

(定床：106床)

沼津リハビリテーション 病 院	入院		外来		訪問リハビリ	
	期中延	1日当	期中延	1日当	期中延	1日当
	36,303	99.5	7,290	30.0	714	3.0

訪問看護取扱患者数・看護小規模多機能型居宅介護利用者数

訪問看護ステーション うしぶせ	訪問看護取扱患者数	
	期中延	1日当
	5,909	19.0
看護小規模多機能型居宅介護 汐かぜ	看護小規模多機能型居宅介護利用者数	
	期中延	1日当
	7,300	20.0

本部・社会復帰事業部グループ

1. 本部

運営方針

組織力を強化し、経営の健全性を維持し、収益性を向上させる体制に変革していく。

重点目標

- ① ガバナンス強化
 - 経営計画、事業計画に対する検証強化
 - 予算実績進捗管理の深化→職員への情報発信
- ② システム化推進
 - 医療DXの推進とAI活用の検討
 - キャッシュレス化の推進
 - 情報管理体制の強化
- ③ 適正な人事・労務管理
 - 人的資本経営に向けた人事制度の改定の検討
 - 適正な労務管理の浸透
 - 採用活動の集中化
- ④ 収益力の強化
 - 共同購入・外部委託等の経費削減策の策定
 - 収益事業の推進

2. 社会復帰事業部

運営方針（事業部）

誰もが自分らしく暮らす事の出来る地域共生社会の実現を目指す。そのために障害者、特に精神障害について専門的見地からのかかわりを通して人・資源・地域を繋ぎ、障害者に寄り添う包括的な支援を行う。また、地域や障害者の状況に合わせた事業運営と、先を見据えた事業展開を全職員とともにデザインする事で、チーム意識ややりがいを持てるような組織の強化に取り組む。

重点目標

- ① 障害者の地域生活を包括的に支援
分野・制度を超えた連携、徹底した意思決定支援

各種別において精神障害者だけでなく、他障害についても受け入れていく事が出来る専門職や知識の習得を図り、幅広く利用者を受け入れていく。
また、意思決定支援ガイドラインに沿った支援を行っているか、全事業所職員が学ぶ機会を持ち、定期的に検討する場を設置する。

- ② 相談支援事業の一元化による事業の強化
OJT体制整備、ICTを活用した業務整理、安定経営

相談支援専門員のボトムアップを事業部全体で行うために、義務となる情報共有会議を活用し全体を把握する。
記録作成等の事務的業務をICTの活用等で効率化し、時間外の削減を図る。
一元化により機能強化Iを取得し、高い報酬単価を取得する。

- ③ ピアサポートの推進
支援の協働、環境整備

法人内でも障害者雇用とピアスタッフの違いの理解が統一されていないため、改めて理解の周知と、ピアスタッフに対する医療機関との連携を検討していく。

- ④ 災害・感染対策の強化と地域共同による事業展開
防災訓練、行事参加、地域連携会議の実施、地域・圏域自立支援協議会への参画
- ⑤ キャリアデザイン活用と組織力強化により、人材確保策を促進
活動の発信機能の整備、キャリアの評価、組織管理体制整備

人材確保を最優先とし、応募方法の工夫や現スタッフの活動について発信する機能を整備する。
相談支援専門員やサービス管理責任者等の任用資格取得者のキャリア評価及び、長期的に資格を活かした組織体制を整備する。

(1) 相談支援・地域活動支援センター事業

- ① 誰もが安心して自分らしく暮らせるよう、地域とつながりながら幅広い支援を提供する。
 - ・障害の分野にとらわれず、専門性を高め多様な利用者を受け入れる。
 - ・職員全員が意思決定支援を学び合い、定期的に振り返りの場を持つ。
 - ・医療・教育・行政と連携し、生活全般を支える包括的な支援を展開
- ② 働きやすさと質の高い支援を両立し、持続可能な事業を育てる。
 - ・相談支援事業を一元化し、安定した経営を実現
 - ・OJT や情報共有を通じて、チーム全体で力を高める仕組みを整備
 - ・ICT を活用して事務を効率化し、利用者支援に集中できる環境をつくる。
- ③ 仲間と共に成長し、経験を生かした支え合いの輪を広げる。
 - ・ピアスタッフと専門職の役割を振り返り、医療機関とも協力体制を築く。
 - ・活動を積極的に発信し、入職者（仲間）を迎え入れる仕組みを整える。
 - ・資格や経験を正しく評価し、長く活躍できるキャリアを築く。
- ④ 地域活動支援センター事業の更なる充実と進化
 - ・地域のニーズを的確に把握し、サービスの狭間やメンタルヘルス等の問題・課題を抱えながらも公的なサービス等につながりにくい方々に対しても、安心して参加できる開かれた活動拠点を提供する。

(2) グループホーム（共同生活援助事業）

- ① 個人にあった支援ができるように職員間で情報共有し、意思決定支援ガイドラインに沿った支援を行えるよう研修機会を設け、職員会議の際には随時支援の振り返りを行う。
- ② 感染及び防災対策を随時見直し、事業継続可能な体制を構築するとともに、利用者・職員が安心して過ごせる職場環境を整備する。
- ③ 地域での祭りや清掃活動、防災訓練などに参加し、地域住民としての役割を果たすと共に、地域連携推進会議を通して事業所を知っていただき、運営について広く助言を求める。

(3) 就労支援事業（B型）

- ① 利用者が安心安定して利用継続できるよう、ピアスタッフや関係機関との連携を図りつつ、個別の特性に応じた支援体制を築く。
- ② 職員は研修参加や事業所内での勉強会を通じて自己研鑽に励み、障害特性や就労支援の理解を深めるとともに、ハラスメント及び虐待の防止に努める。また被災時や感染拡大の際の事業所運営についても改めて検討していく。
- ③ 市の社会福祉大会など地域活動に積極的に参画し、自主製品の売り上げ及び工賃向上に努めるとともに、障害者福祉に関する普及啓発に取り組む。

施設の整備計画

- ① サポートセンターなかせの移転検討
- ② 老朽化した施設、設備の修繕を適宜行う。

地域貢献活動

(1) 精神保健福祉分野における公的機関への協力

- ・大学及び専門学校、各種研修会への講師派遣による人材育成の協力
- ・各地域の自立支援協議会では協議委員や部会員として協力し、障害者支援の中核的な役割を担う。
- ・圏域スーパーバイザー事業受託
- ・行政、関係団体からの委員活動等、要請があれば検討し、協力していく。

(2) 地域に必要な事業の検討

- ・ピアサポート連絡会（当事者グループ）活動支援

社会復帰事業部各施設

種 別	施設名	定 員	1 日当
サポートセンター	ゆめワーク	相談	10 件
		活動	5 名
		計画作成	32.5 件／月
	なかせ	相談	25 件
		計画作成	85 件／月
	りりぶ	相談	15 件
		活動	10 名
		計画作成	39.8 件／月
	ひまり	相談	10 件
		計画作成	44.0 件／月
グループホーム	はまゆう寮	9 名	8.3 名
	カーサ岡の宮	10 名	7.7 名
	コーポ狩野	18 名	16.9 名
就労継続支援 B 型	かのん	20 名	20.0 名
	ワークショップまごころ	20 名	14.5 名
	田方・ゆめワーク	20 名	15.0 名

以上

公益財団法人 復康会
令和8年度 収支予算書

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

(正味財産増減計算書)

(単位：千円)

科目名	予算額	前年度予算	差引増減額	摘要(積算内訳)
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1	0	1	
基本財産受取利息	1	0	1	
特定資産運用益	38,259	20,163	18,096	
特定資産受取利息	38,259	20,163	18,096	
事業収益	5,374,658	5,364,699	9,959	
医業収入	5,046,374	5,034,930	11,444	
入院収入	3,981,977	4,022,634	▲ 40,657	
外来収入	883,699	851,098	32,601	
介護サービス事業収入	111,368	86,497	24,871	
室料収入	28,010	34,061	▲ 6,051	
保険調整増減	6	▲ 968	974	
医療受託事業収入	41,314	41,608	▲ 294	
自立支援費等収入	328,284	329,769	▲ 1,485	
訓練等給付費収入	179,680	179,479	201	
計画相談支援給付費収入	61,832	48,621	13,211	
福祉受託事業収入	85,638	100,535	▲ 14,897	
受取補助金等	47,243	65,319	▲ 18,076	
補助金収入(国庫)	0	50	▲ 50	
補助金収入(県市町)	16,895	31,729	▲ 14,834	
助成金収入(県市町)	1,595	3,204	▲ 1,609	
受取補助金等振替額	28,753	30,336	▲ 1,583	
雑収益	183,690	174,594	9,096	
受取洗濯料	7,956	8,149	▲ 193	
患者外給食収入	14,984	14,456	528	
就労支援事業収入	25,621	24,862	759	
家賃収入	17,630	14,671	2,959	
売店収入	51,037	54,355	▲ 3,318	
受取利息配当金	9,076	6,521	2,555	
雑収入	57,386	51,580	5,806	
経常収益計	5,646,720	5,627,644	19,076	
(2) 経常費用				
事業費	5,914,716	5,754,976	159,740	
(材料費)	437,950	459,329	▲ 21,379	
薬品費	243,646	258,396	▲ 14,750	
医療消耗備品費	2,199	1,744	455	
診療材料費	58,795	58,075	720	
給食材料費	133,310	141,114	▲ 7,804	
(給与費)	4,290,862	4,184,036	106,826	
給料	3,036,454	2,921,254	115,200	
賞与	618,953	628,187	▲ 9,234	
退職給付費用	106,807	114,043	▲ 7,236	
法定福利費	527,618	517,912	9,706	
奨学金	1,030	2,640	▲ 1,610	
(一般経費)	1,124,871	1,048,974	75,897	
福利厚生費	36,989	38,530	▲ 1,541	
旅費交通費	13,307	13,867	▲ 560	
通信費	12,973	12,695	278	
消耗品費	37,604	35,700	1,904	
消耗備品費	7,457	5,296	2,161	
会議費	3,607	3,372	235	
光熱水費	149,629	144,651	4,978	
修理費	32,461	36,982	▲ 4,521	
賃借料	41,630	46,780	▲ 5,150	
リース料	32,017	31,257	760	
検査委託費	11,904	11,721	183	
寝具委託費	26,974	27,721	▲ 747	
損害保険料	13,861	12,431	1,430	
交際費	1,038	1,018	20	
諸会費	5,266	4,332	934	
租税公課	79,667	76,215	3,452	
広告費	3,015	3,479	▲ 464	
減価償却費	334,134	281,048	53,086	
図書費	4,594	4,889	▲ 295	
保守管理費	147,730	129,489	18,241	
車両経費	6,841	7,009	▲ 168	
コンピュータ費	22,229	25,857	▲ 3,628	
業務委託費	89,190	84,448	4,742	
交流費	216	175	41	
雑費	10,538	10,012	526	
(その他経費)	61,033	62,637	▲ 1,604	
支払利息	1,088	125	963	
就労支援事業材料費	11,974	11,252	722	
就労利用者配分金	10,652	10,262	390	
売店仕入	36,608	40,282	▲ 3,674	
雑損失	0	5	▲ 5	

科目名	予算額	前年度予算	差引増減額	摘要(積算内訳)
管理費	55,764	41,575	14,189	
(給与費)	13,659	11,195	2,464	
給料(管)	6,770	5,144	1,626	
賞与(管)	1,818	1,364	454	
退職給付費用(管)	45	0	45	
法定福利費(管)	1,357	1,018	339	
(一般経費)	19,266	18,145	1,121	
福利厚生費(管)	30	42	▲ 12	
通信費(管)	97	85	12	
消耗品費(管)	68	81	▲ 13	
会議費(管)	524	496	28	
光熱水費(管)	145	119	26	
賃借料(管)	8,731	8,253	478	
リース料(管)	57	58	▲ 1	
損害保険料(管)	387	312	75	
交際費(管)	350	300	50	
諸会費(管)	108	112	▲ 4	
租税公課(管)	1,617	1,409	208	
減価償却費(管)	2,705	2,772	▲ 67	
図書費(管)	7	6	1	
保守管理費(管)	1,391	1,219	172	
車両経費(管)	154	37	117	
コンピュータ費(管)	885	977	▲ 92	
雑費(管)	203	60	143	
(その他経費)	22,839	12,235	10,604	
患者外給食材料費(管)	12,236	11,732	504	
創立記念事業費(管)	10,000	0	10,000	
医業外雑費(管)	500	400	100	
経常費用計	5,970,480	5,796,551	173,929	
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 323,760	▲ 168,907	▲ 154,853	
当期経常増減額	▲ 323,760	▲ 168,907	▲ 154,853	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	0	816	▲ 816	
固定資産除却損	0	816	▲ 816	
解体費用	0	264	▲ 264	
建物解体費	0	264	▲ 264	
経常外費用計	0	1,080	▲ 1,080	
当期経常外増減額	0	▲ 1,080	1,080	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	▲ 323,760	▲ 169,987	▲ 153,773	
他会計振替額の部	0	0	0	
他会計振替額①(支)	0	0	0	
他会計振替額②(支)	0	0	0	
他会計振替額③(支)	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 323,760	▲ 169,987	▲ 153,773	
法人税、住民税及び事業税	3,357	3,376	▲ 19	
当期一般正味財産増減額	▲ 327,117	▲ 173,363	▲ 153,754	
一般正味財産期首残高	9,110,966	9,457,101	▲ 346,135	
一般正味財産期末残高	8,783,849	9,283,738	▲ 499,889	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等(指)	222	0	222	
補助金収入(指県市町)	222	0	222	
一般正味財産への振替額	31,622	33,263	▲ 1,641	
一般正味財産への振替額	31,622	33,263	▲ 1,641	
当期指定正味財産増減額	▲ 31,400	▲ 33,263	1,863	
指定正味財産期首残高	506,322	539,598	▲ 33,276	
指定正味財産期末残高	474,922	506,335	▲ 31,413	
III 正味財産期末残高	9,258,771	9,790,073	▲ 531,302	

公益財団法人 復康会
令和8年度 収支予算内訳書

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

(正味財産増減計算書)

勘定科目	公益事業		収益事業及びその他事業							法人会計	内部取引控除	内部取引控除 控除後合計
	公益事業	小計①	収益事業1	収益事業2	収益事業3	収益事業4	その他事業	小計②				
			差額室料	受取洗濯料等	不動産賃貸	売店	福利厚生					
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
基本財産運用利益	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
基本財産受取利息	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
特定資産運用利益	38,259	38,259	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38,259
特定資産受取利息	38,259	38,259	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38,259
事業収益	5,332,903	5,332,903	28,010	13,745	0	0	0	41,755	0	0	0	5,374,658
医療収入	5,004,619	5,004,619	28,010	13,745	0	0	0	41,755	0	0	0	5,046,374
入院収入	3,968,232	3,968,232	0	13,745	0	0	0	13,745	0	0	0	3,981,977
外来収入	883,699	883,699	0	0	0	0	0	0	0	0	0	883,699
介護サービス事業収入	111,368	111,368	0	0	0	0	0	0	0	0	0	111,368
室料収入	0	0	28,010	0	0	0	0	28,010	0	0	0	28,010
保険調整増減	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
医療受託事業収入	41,314	41,314	0	0	0	0	0	41,314	0	0	0	41,314
自立支援費等収入	328,284	328,284	0	0	0	0	0	0	0	0	0	328,284
訓練等給付費収入	179,680	179,680	0	0	0	0	0	0	0	0	0	179,680
地域相談支援給付費収入	1,134	1,134	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,134
計画相談支援給付費収入	61,832	61,832	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61,832
福祉受託事業収入	85,638	85,638	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85,638
受取補助金等	47,121	47,121	0	64	58	0	0	122	0	0	0	47,243
補助金収入(県市町)	16,895	16,895	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,895
助成金収入(県市町)	1,595	1,595	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,595
受取補助金等振替額	28,631	28,631	0	64	58	0	0	122	0	0	0	28,753
受取寄附金	2,869	2,869	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,869
受取寄付金振替額	2,869	2,869	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,869
雑収益	160,544	160,544	0	28,216	22,442	51,037	0	101,695	14,984	▲ 93,533	▲ 93,533	183,690
受取洗濯料	0	0	0	7,956	0	0	0	7,956	0	0	0	7,956
患者外給食収入	0	0	0	0	0	0	0	0	14,984	0	0	14,984
就労支援事業収入	25,621	25,621	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25,621
家賃収入	0	0	0	0	17,630	0	0	17,630	0	0	0	17,630
売店収入	0	0	0	0	0	51,037	0	51,037	0	0	0	51,037
受取利息配当金	9,076	9,076	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,076
雑収入	32,314	32,314	0	20,260	4,812	0	0	25,072	0	0	0	57,386
本部経費負担金収入	93,533	93,533	0	0	0	0	0	0	0	0	0	93,533
本部経費負担金収入	5,581,697	5,581,697	28,010	42,025	22,500	51,037	0	143,572	14,984	▲ 93,533	▲ 93,533	5,646,720
経常収益計	5,915,461	5,915,461	0	18,488	15,459	50,845	7,841	92,788	0	▲ 93,533	▲ 93,533	5,914,716
(2) 経常費用	437,950	437,950	0	0	0	0	0	0	0	0	0	437,950
(材料費)	243,646	243,646	0	0	0	0	0	0	0	0	0	243,646
薬品費	2,199	2,199	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,199
医療消耗品費	58,795	58,795	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58,795
診療材料費	133,310	133,310	0	0	0	0	0	0	0	0	0	133,310
給食材料費	4,265,582	4,265,582	0	10,347	5,247	9,686	0	25,280	0	0	0	4,290,862
給与費	3,016,697	3,016,697	0	7,148	3,630	8,979	0	19,757	0	0	0	3,036,454
給料	615,795	615,795	0	1,900	938	320	0	3,158	0	0	0	618,953
賞与			0									

(単位：千円)

勘定科目	公益事業				収益事業及びその他事業				法人会計	内部取引控除	内部取引控除後合計		
	公益事業		収益事業		収益事業3		収益事業4						
	小計①	小計②	受取洗濯料等	不動産賃貸	売店	収益共通	その他事業	小計③					
賃借料(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,731	0	8,731
リース料(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57	0	57
損害保険料(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	387	0	387
交際費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	350	0	350
諸会費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	108	0	108
租税公課(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,617	0	1,617
広告費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	20
減価償却費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,705	0	2,705
図書費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7
保守管理費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,391	0	1,391
車両経費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	154	0	154
コンピュータ費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	885	0	885
業務委託費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,672	0	1,672
雑費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	203	0	203
(その他経費)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22,839	0	22,839
患者外給食材料費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,236	0	12,236
寄附金(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	103	0	103
創立記念事業費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000
医療外雑費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	0	500
経常用計	5,915,461	5,915,461	18,488	15,459	7,841	7,841	7,841	7,841	155	155	55,764	▲ 93,533	5,970,480
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 333,764	▲ 333,764	28,010	23,537	7,041	7,041	7,041	7,041	▲ 155	▲ 155	▲ 40,780	0	▲ 323,760
当期経常増減額	▲ 333,764	▲ 333,764	28,010	23,537	7,041	7,041	7,041	7,041	▲ 155	▲ 155	▲ 40,780	0	▲ 323,760
2. 経常外増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	▲ 333,764	▲ 333,764	28,010	23,537	7,041	7,041	7,041	7,041	▲ 155	▲ 155	▲ 40,780	0	▲ 323,760
他会計振替額の部	25,469	25,469	▲ 14,005	0	0	0	0	0	▲ 33,577	155	21,958	0	0
他会計振替額①(支)	▲ 25,469	▲ 25,469	14,005	0	0	0	0	0	11,464	0	25,469	0	0
他会計振替額②(支)	0	0	0	0	0	0	0	0	155	▲ 155	0	0	0
他会計振替額③(支)	0	0	0	0	0	0	0	0	21,958	0	21,958	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 308,295	▲ 308,295	14,005	23,537	7,041	7,041	7,041	7,041	▲ 41,418	0	▲ 18,822	0	▲ 323,760
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	0	3,357	0	3,357	0	3,357
当期一般正味財産増減額	▲ 308,295	▲ 308,295	14,005	23,537	7,041	7,041	7,041	7,041	▲ 44,775	0	▲ 18,822	0	▲ 327,117
一般正味財産期首残高	8,437,792	8,437,792	336,663	272,349	251,255	▲ 1,916	▲ 719,295	3,157	▲ 142,213	3,157	530,961	0	9,110,966
一般正味財産期末残高	8,129,497	8,129,497	350,668	295,886	258,296	▲ 1,724	▲ 764,070	3,157	142,213	3,157	512,139	0	8,783,849
指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等(指)	222	222	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	222
補助金収入(指東市町)	222	222	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	222
一般正味財産への振替額	31,500	31,500	0	64	58	0	0	0	122	0	0	0	31,622
一般正味財産への振替額	▲ 31,500	▲ 31,500	0	64	58	0	0	0	▲ 122	0	0	0	▲ 31,622
当期指定正味財産増減額	▲ 31,278	▲ 31,278	0	▲ 64	▲ 58	0	0	0	▲ 122	0	0	0	▲ 31,400
指定正味財産期首残高	504,079	504,079	0	1,168	1,075	0	0	0	2,243	0	0	0	506,322
指定正味財産期末残高	472,801	472,801	0	1,104	1,017	0	0	0	2,121	0	0	0	474,922
III 正味財産期末残高	8,602,298	8,602,298	350,668	296,990	259,313	▲ 1,724	▲ 764,070	3,157	144,334	3,157	512,139	0	9,268,771

令和 8年度 次期収支予算書

法人名	公益財団法人復康会
事業・会計	総括（会計区分）

<収支計算書>

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額 (補正後)	差 引 増 減 額	摘 要 (積 算 内 訳)
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
1137 基本財産運用収入	1	0	1	
8501 基本財産利息収入	1	0	1	
1138 特定資産運用収入	38,259	20,163	18,096	
8502 特定資産利息収入	38,259	20,163	18,096	
1140 事業収入	5,374,658	5,364,699	9,959	
1141 医療収入	5,046,374	5,034,930	11,444	
8503 入院収入	3,981,977	4,022,634	△40,657	
8504 外来収入	883,699	851,098	32,601	
8505 介護サービス事業収入	111,368	86,497	24,871	
8506 室料収入	28,010	34,061	△6,051	
8508 保険調整増減	6	△968	974	
8530 医療受託事業収入	41,314	41,608	△294	
1143 自立支援費等収入	328,284	329,769	△1,485	
8510 訓練等給付費収入	179,680	179,479	201	
7117 地域相談支援給付費収入	1,134	1,134	0	
7116 計画相談支援給付費収入	61,832	48,621	13,211	
8512 福祉受託事業収入	85,638	100,535	△14,897	
1148 補助金等収入	18,712	34,983	△16,271	
8513 補助金収入(国庫)	0	50	△50	
8514 補助金収入(県市町)	17,117	31,729	△14,612	
8517 助成金収入(県市町)	1,595	3,204	△1,609	
1146 事業外収入	277,223	270,885	6,338	
8522 受取洗濯料	7,956	8,149	△193	
8523 患者外給食収入	14,984	13,960	1,024	
8524 就労支援事業収入	25,621	24,862	759	
8525 家賃収入	17,630	14,671	2,959	
8536 売店収入	51,037	54,355	△3,318	
8526 受取利息配当金	9,076	6,521	2,555	
8810 区分間資産移管収益	0	4,203	△4,203	
8527 雑収入	57,386	51,580	5,806	
8528 本部経費負担金収入	93,533	92,584	949	
1151 事業活動収入計	5,708,853	5,690,730	18,123	
2. 事業活動支出				
1153 事業費支出	5,677,472	5,570,152	107,320	
1154 (材料費)	437,950	459,329	△21,379	
9601 医薬品購入支出	243,646	258,396	△14,750	
9602 医療消耗備品費	2,199	1,744	455	
9603 診療材料購入支出	58,795	58,075	720	
9604 給食材料購入支出	133,310	141,114	△7,804	
1156 (給与費)	4,290,862	4,184,036	106,826	
9605 給料	3,036,454	2,921,254	115,200	
9606 賞与	618,953	628,187	△9,234	
9609 退職給付費用	106,807	114,043	△7,236	
9610 法定福利費	527,618	517,912	9,706	
9611 奨学金	1,030	2,640	△1,610	
1158 (一般経費)	794,094	771,302	22,792	
9612 福利厚生費	36,989	38,530	△1,541	

法人名	公益財団法人復康会
事業・会計	総括（会計区分）

<収支計算書>

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額 (補正後)	差 引 増 減 額	摘 要 (積 算 内 訳)
9614 旅 費 交 通 費	13,307	13,867	△560	
9615 通 信 費	12,973	12,695	278	
9616 消 耗 品 費	37,604	35,700	1,904	
9617 消 耗 備 品 費	7,457	5,296	2,161	
9618 会 議 費	3,607	3,372	235	
9619 光 熱 水 費	149,629	144,651	4,978	
9620 修 理 費	32,461	36,982	△4,521	
9621 賃 借 料	41,630	46,780	△5,150	
9654 リ ー ス 料	32,017	31,257	760	
9622 検 査 委 託 費	11,904	11,721	183	
9623 複 具 委 託 費	26,974	27,721	△747	
9624 損 害 保 険 料	13,861	12,431	1,430	
9625 交 際 費	1,038	1,018	20	
9626 諸 会 費	5,266	4,332	934	
9627 租 税 公 課	83,024	79,591	3,433	
9628 広 告 費	3,015	3,479	△464	
9630 図 書 費	4,594	4,889	△295	
9632 保 守 管 理 費	147,730	129,489	18,241	
9633 車 両 経 費	6,841	7,009	△168	
9634 コ ン ピ ュ ー タ 費	22,229	25,857	△3,628	
9635 業 務 委 託 費	89,190	84,448	4,742	
9652 交 流 費	216	175	41	
9636 雑 費	10,538	10,012	526	
1160 (そ の 他 経 費)	154,566	155,485	△919	
9637 支 払 利 息	1,088	125	963	
9639 就 労 支 援 事 業 材 料 費	11,974	11,252	722	
9640 就 労 利 用 者 配 分 金	10,652	10,262	390	
9653 売 店 仕 入	36,608	40,282	△3,674	
9642 寄 附 金 支 出	711	711	0	
9644 雑 損 失	0	5	△5	
9647 本 部 経 費 負 担 金 支 出	93,533	92,584	949	
9650 建 物 解 体 費	0	264	△264	
1163 管 理 費 支 出	53,059	38,527	14,532	
1164 (給 与 費)	13,659	11,195	2,464	
9705 給 料 (管)	6,770	5,144	1,626	
9706 賞 与 (管)	1,818	1,364	454	
9708 役 員 報 酬 (管)	3,669	3,669	0	
9709 退 職 給 付 費 用 (管)	45	0	45	
9710 法 定 福 利 費 (管)	1,357	1,018	339	
1166 (一 般 経 費)	16,561	15,373	1,188	
9712 福 利 厚 生 費 (管)	30	42	△12	
9714 旅 費 交 通 費 (管)	40	40	0	
9715 通 信 費 (管)	97	85	12	
9716 消 耗 品 費 (管)	68	81	△13	
9717 消 耗 備 品 費 (管)	40	40	0	
9718 会 議 費 (管)	524	496	28	
9719 光 熱 水 費 (管)	145	119	26	
9720 修 理 費 (管)	35	35	0	
9721 賃 借 料 (管)	8,731	8,253	478	

法人名	公益財団法人復康会
事業・会計	総括（会計区分）

<収支計算書>

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額 (補正後)	差 引 増 減 額	備 考 (積 算 内 訳)
9751 リース料(管)	57	58	△1	
9724 損害保険料(管)	387	312	75	
9725 交際費(管)	350	300	50	
9726 諸会費(管)	108	112	△4	
9727 租税公課(管)	1,617	1,409	208	
9728 広告費(管)	20	20	0	
9730 図書費(管)	7	6	1	
9732 保守管理費(管)	1,391	1,219	172	
9733 車両経費(管)	154	37	117	
9734 コンピュータ費(管)	885	977	△92	
9735 業務委託費(管)	1,672	1,672	0	
9736 雑費(管)	203	60	143	
1168 (その他経費)	22,839	11,959	10,880	
9738 患者外給食材料費(管)	12,236	11,456	780	
9742 寄附金支出(管)	103	103	0	
9745 創立記念事業費(管)	10,000	0	10,000	
9746 医薬外雑費(管)	500	400	100	
1210 事業外支出	0	4,203	△4,203	
9811 区分間資産移管費用	0	4,203	△4,203	
1171 事業活動支出計	5,730,531	5,612,882	117,649	
1173 事業活動収支差額	△21,678	77,848	△99,526	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
1178 敷金保証金戻り収入	825	1,428	△603	
8217 敷金保証金戻り収入	825	1,428	△603	
1179 預り敷金収入	1,500	0	1,500	
8219 預り敷金収入	1,500	0	1,500	
1181 投資活動収入計	2,325	1,428	897	
2. 投資活動支出				
1184 固定資産取得支出	488,438	563,603	△75,165	
9207 建物購入支出	63,647	20,090	43,557	
9208 建物付属設備購入支出	92,939	65,062	27,877	
9209 構築物購入支出	3,894	58,190	△54,296	
9210 医療機械購入支出	18,471	32,774	△14,303	
9212 什器備品購入支出	162,044	169,338	△7,294	
9221 ソフトウェア購入支出	147,443	218,149	△70,706	
1186 敷金・保証金支出	250	3,200	△2,950	
9217 敷金・保証金支出	250	3,200	△2,950	
1188 投資活動支出計	488,688	566,803	△78,115	
1189 投資活動収支差額	△486,363	△565,375	79,012	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
1194 引当金戻り収入	116,236	121,271	△5,035	
8402 退職給付引当金繰入収入	116,236	121,271	△5,035	
1191 長期貸付金戻り収入	1,030	2,640	△1,610	
8218 長期貸付金戻り収入	1,030	2,640	△1,610	
1193 特定資産取崩収入	518,858	446,640	72,218	
8203 退職給付引当資産取崩収入	118,858	88,450	30,408	
8205 減価償却積立資産取崩収入	400,000	358,190	41,810	

法人名	公益財団法人復康会
事業・会計	総括(会計区分)

<収支計算書>

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額 (補正後)	差 引 増 減 額	摘 要 (積 算 内 訳)
1195 財 務 活 動 収 入 計	636,124	570,551	65,573	
2. 財 務 活 動 支 出				
1198 引 当 金 取 崩 支 出	118,858	88,450	30,408	
9402 退職給付引当金取崩支出	118,858	88,450	30,408	
1199 長 期 貸 付 金 支 出	1,680	960	720	
9218 長 期 貸 付 金 支 出	1,680	960	720	
1201 特 定 資 産 取 得 支 出	517,325	422,360	94,965	
9203 退職給付引当資産取得支出	116,237	121,271	△5,034	
9205 減価償却積立資産取得支出	401,088	301,089	99,999	
1203 財 務 活 動 支 出 計	637,863	511,770	126,093	
1204 財 務 活 動 収 支 差 額	△1,739	58,781	△60,520	
IV 予 備 費 支 出	50,000	100,000	△50,000	
当 期 収 支 差 額	△559,780	△528,746	△31,034	
前 期 繰 越 収 支 差 額	2,541,277	3,170,788	△629,511	
次 期 繰 越 収 支 差 額	1,981,497	2,642,042	△660,545	

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし		
事業	借入先		金額	用途
区分	番号			
		円		

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		あり		
事業	設備投資の内容		支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の用途
区分	番号			
公	1	体育館屋根改修工事	10,780,000 円	当期収益より調達
公	2	体育館外壁改修工事(南・西側)	12,870,000 円	当期収益より調達
公	3	体育館外壁改修工事(北・東側)	13,310,000 円	当期収益より調達
公	4	病棟北側外壁改修工事(第1段階工事)	10,670,000 円	当期収益より調達
公	5	病棟北側外壁改修工事(第2段階工事)	12,760,000 円	当期収益より調達
公	6	厨房屋根防水補修工事	2,530,000 円	当期収益より調達
公	7	1病棟冷温水他保温工事	5,390,000 円	当期収益より調達
公	8	病棟談話コーナー外調機(2・4病棟)	25,000,000 円	当期収益より調達
公	9	屋上タラップ設置・カバー交換工事	1,980,000 円	当期収益より調達
公	10	病棟自動施錠ドアノブ交換	1,375,000 円	当期収益より調達
公	11	外来救急玄関側廊下補修工事	770,000 円	当期収益より調達
公	12	全病棟勤務室全熱交換器更新工事	5,324,000 円	当期収益より調達
公	13	ナースコール設備	30,000,000 円	当期収益より調達
公	14	自動錠剤分包機	11,110,000 円	当期収益より調達
公	15	サーバー関連機器	16,895,000 円	当期収益より調達
公	16	電子カルテ用ノートパソコン(66)	15,844,000 円	当期収益より調達
公	17	電子カルテ用デスクトップパソコン(63)	16,723,000 円	当期収益より調達
公	18	レーザープリンター(31)	2,165,000 円	当期収益より調達

公	19	ティーサーバー交換 (2病棟・5階食堂)	575,000 円	当期収益より調達
公	20	院内ラン ファイルサーバー	770,000 円	当期収益より調達
公	21	電子カルテ用ノートパソコン (8)	1,921,000 円	当期収益より調達
公	22	電子カルテ用デスクトップパソコン (7)	1,858,000 円	当期収益より調達
公	23	レーザープリンター (6)	419,000 円	当期収益より調達
公	24	電子カルテシステム	60,726,000 円	当期収益より調達
公	25	医事会計システム	12,789,000 円	当期収益より調達
公	26	精神科専門療法	3,356,000 円	当期収益より調達
公	27	C a s e B a n k	4,113,000 円	当期収益より調達
公	28	調剤支援システム	4,763,000 円	当期収益より調達
公	29	栄養管理システム	330,000 円	当期収益より調達
公	30	P A C S (画像システム)	330,000 円	当期収益より調達
公	31	検査システム	330,000 円	当期収益より調達
公	32	電子処方箋対応システム	1,089,000 円	当期収益より調達
公	33	電子カルテ導入展開作業	4,722,000 円	当期収益より調達
公	34	次世代型ファイアウォール (ランサムウェア対策)	1,320,000 円	当期収益より調達
公	35	次世代型エンドポイント (ランサムウェア対策)	1,394,000 円	当期収益より調達
公	36	薬剤マスタ参照システム	12,000,000 円	当期収益より調達
公	37	オンライン確認システム連携 (公費・救急診療)	1,827,000 円	当期収益より調達
公	38	ウェブレポート (抽出システム)	1,100,000 円	当期収益より調達
公	39	タイムスタンプ	4,211,000 円	当期収益より調達
公	40	小遣いシステム更新	195,000 円	当期収益より調達
公	41	電子カルテシステム	17,181,000 円	当期収益より調達
公	42	医事会計システム	1,382,000 円	当期収益より調達
公	43	精神科専門療法	1,255,000 円	当期収益より調達
公	44	C a s e B a n k	2,011,000 円	当期収益より調達
公	45	電子処方箋対応システム	544,000 円	当期収益より調達
公	46	電子カルテ導入展開作業	620,000 円	当期収益より調達
公	47	次世代型ファイアウォール (ランサムウェア対策)	660,000 円	当期収益より調達

公	48	次世代型エンドポイント (ランサムウェア対策)	696,000 円	当期収益より調達
公	49	タイムスタンプ	2,517,000 円	当期収益より調達
公	50	オンライン確認システム連 携(公費)	132,000 円	当期収益より調達
公	51	臨床化学分析装置富士ドラ イケム	2,640,000 円	当期収益より調達
公	52	臨床化学分析装置アイギア プロ	330,000 円	当期収益より調達
公	53	調理場エアコン	440,000 円	当期収益より調達
公	54	吸収冷凍機	63,140,000 円	当期収益より調達
公	55	B棟2・3階ナース室エアコ ン	3,190,000 円	当期収益より調達
公	56	デイケアエアコン	120,000 円	当期収益より調達
公	57	デイケアトイレ2台交換工 事	800,000 円	当期収益より調達
公	58	非常用照明器具交換	1,650,000 円	当期収益より調達
公	59	浄化槽原水ポンプ交換工事	330,000 円	当期収益より調達
公	60	浄化槽調整ポンプ交換工事	295,000 円	当期収益より調達
公	61	浄化槽微細目スクリーン交 換工事	625,000 円	当期収益より調達
公	62	冷凍室ドア交換	486,000 円	当期収益より調達
公	63	プラストチラー	2,210,000 円	当期収益より調達
公	64	電カル用ノートパソコン(2 台)	440,000 円	当期収益より調達
公	65	面談室監視カメラ	1,200,000 円	当期収益より調達
公	66	医療ガスアウトレットバル ブ交換工事	581,000 円	当期収益より調達
公	67	医療ガスA棟酸素供給装置更 新工事	1,870,000 円	当期収益より調達
公	68	ノートパソコン(1台)	109,000 円	当期収益より調達
公	69	自立支援3モーターベット	180,000 円	当期収益より調達
公	70	ノートパソコン(2台)	400,000 円	当期収益より調達
公	71	病棟用ベット3台	1,000,000 円	当期収益より調達
公	72	患者待合室ソファー	1,200,000 円	当期収益より調達
公	73	応接室改装	313,000 円	当期収益より調達
公	74	旧通所棟改装	414,000 円	当期収益より調達
公	75	1号機エレベーター更新	11,000,000 円	当期収益より調達
公	76	エアコン 更新	12,100,000 円	当期収益より調達

公	77	外構壁工事	3,894,000 円	当期収益より調達
公	78	富士ドライケムNX	2,680,000 円	当期収益より調達
公	79	薬カート 4台	1,272,000 円	当期収益より調達
公	80	デュアルタスクマット 6m	105,000 円	当期収益より調達
公	81	ARAT (上肢評価システム)	334,000 円	当期収益より調達
公	82	PACS更新	10,000,000 円	当期収益より調達
公	83	電動ベッド 4台	1,848,000 円	当期収益より調達
公	84	PC 10台	2,200,000 円	当期収益より調達
公	85	食器保管庫	770,000 円	当期収益より調達
公	86	温冷蔵庫付配膳車 3台	4,500,000 円	当期収益より調達
公	87	医薬品在庫システム 更新	500,000 円	当期収益より調達
公	88	ルームエアコン	120,000 円	当期収益より調達
公	89	ルームエアコン3台	162,000 円	当期収益より調達
公	90	ルームエアコン	324,000 円	当期収益より調達
公	91	冷凍冷蔵庫	1,200,000 円	当期収益より調達
公	92	会計システム公益大臣サーバー	3,485,000 円	当期収益より調達
公	93	会計システム公益大臣ソフトウェア	5,350,000 円	当期収益より調達